

平成31年度

学校教育基本方針

京都市立上高野小学校

学校教育目標

「思いやりにあふれ、自ら考え方行動する子の育成」

『目ざす子ども像』

- ・自他を大切にできる子
- ・自ら考え方行動することができる子
- ・自らを律することができる子

『目ざす教職員像』

- ・常に人権を意識した教職員
- ・子どもの実態を的確に把握し、個に応じた関わりができる教職員
- ・子どもの将来展望を見つめ、一人一人に届く授業の創造ができる教職員
- ・保護者・地域等との連携を深め、共に子どもを育むことができる教職員

『目ざす学校像』

- ・一人ひとりが認められ、安心してすごせる学校
- ・自分の力を発揮でき、達成感がもてる学校
- ・共に高まり合える集団の中で、充実感を持ってすごせる学校

～子どもも大人（教職員）もが『明日も来たいな、と思える学校』に～

学校経営方針

【指導の重点】

「自己決定力」「自己存在感」「共感的な人間関係」の醸成

「確かな学力」の育成（めあてと評価を明確にした学習指導の充実）

- 「学びのめあてを明確にした授業の構築」
- 「習得・活用・探究の過程の中で『見方・考え方』を働かせる授業の創造」
- 「自己決定の経験を積み、自己存在感の高揚を図る」
- 「指導と評価の一体化、説明責任を果たせる評価」

「豊かな心」の育成（学校生活を通してつける心の力）

- 「人権を尊重する態度の日常化」
- 「いじめを許さない、共感的な人間関係の構築」
- 「個々の児童が「居場所」を感じること（自己存在感）ができる学級経営」
- 「公共心・公徳心、自己指導力の向上」

「健やかな体」の育成（健康と安全を意識して過ごす力）

- 「子どもの命を守りきる」
- 「健康の保持・増進」
- 「自律的な生活意識の向上」
- 「自分の命を自分で守る意識の向上」

「地域との連携・協同」～上高野で学ぶアドバンテージ～

- 「地域の文化・伝統を活用した教育（教師自らが地域に学ぶ）」
- 「地域の一員としての自覚や所属感を持てる活動」

平成31年度 一京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ 次代と自らの未来を創造する子ども」

～歴史に学び、今を見つめ、持続可能な社会の担い手として、

多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、未来社会を創造する～

—3つの姿—

1. 京都が育んできた伝統と文化に立脚し、広い視野と豊かな感性を持ち、
よりよい人生や社会を創造できる
2. 学校教育をはじめ様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たす
ことができる
3. 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

平成31年度 上高野小学校 学校教育目標

「思いやりにあふれ、自ら考え行動する子の育成」

平成31年度 指導の重点

「自己決定力」「自己存在感」「共感的な人間関係」の醸成

『目ざす子ども像』

- ・自他を大切にできる子
- ・自ら考え行動することができる子
- ・自らを律することができる子

『目ざす学校像』

- ・一人ひとりが認められ、
安心してすごせる学校
- ・自分の力を発揮でき、
達成感がもてる学校
- ・共に高まり合える集団の中で、
充実感を持ってすごせる学校